

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度 活動

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



新しいロゴマークに込めた想い

ともに、高みへ

高野電気工業は、
新しくロゴマークを定めました。
情熱の象徴である赤をまとい、
Sと丸をかたどったこのロゴマークは、
従業員はもとより協力会社を含めた仲間たちが
ひとつ(一丸)となって、
技術、働き方、ステイタスなど
すべての面でより「高み」を目指していこうという
私たちの気持ちを表したものです。

高野電気工業株式会社

2024年6月30日 発行

目次

1. 組織の概要・・・P1
2. 対象範囲・・・P1
3. 環境経営方針・・・P3
4. 環境経営実施組織・・・P4
5. 環境目標・環境目標の実績
 - ・ 中期目標・・・P5
 - ・ 活動結果・・・P6
 - ・ 二酸化炭素総排出量・・・P6
6. 環境活動計画・取組結果と評価・・・P7
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果・・・P8
8. ボランティア活動・表彰・・・P9、P10、P11、P12、P13
9. 世界を目指す国際目標 SDG s（持続可能な開発目標）
 - ・・・P14. P15. P16
10. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・P17

1. 組織の概要

- ・事業所名及び代表者氏名

高野電気工業株式会社
代表取締役 高野 大吾

- ・所在地

本 社：東京都葛飾区奥戸6-11-2
倉 庫：東京都葛飾区奥戸6-4-8

- ・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者
高野 大吾
TEL：03-3696-0741 Eメール：info@takanodenki.com

担当者
庶務部：高野 明実
TEL：03-3696-0741 Eメール：info@takanodenki.com

- ・事業活動の内容

電気設備工事及び空調設備工事の設計・施工

- ・事業の規模

売上高 11.85 億円 (2022 年度)

	本 社	倉 庫
従業員数	31 名	0 名
延床面積	1 0 5 m ²	4 5 0 m ²

2. 対象範囲

全組織・全活動を対象としています。

3. 環境経営方針

高野電気工業株式会社は、電気設備工事を通じてお客様の要望に応え、地域社会から信頼される企業を目指しております。

同時に、事業活動を展開することは環境への負荷をもたらすものであり、広く環境対策に取り組むことが重要であると考えています。

このような認識のもと、各種環境法令を遵守し、全ての事業活動を通じて環境負荷の削減をはじめとする環境保全対策及び省資源対策に取り組み、持続的な発展が可能な社会づくりに貢献いたします。

【環境経営活動の重点事項】

1. 二酸化炭素排出量の削減
 - ①電力使用量の削減
 - ②ガソリン使用量の削減
 - ③軽油使用量の削減
2. 廃棄物排出量の削減
3. 水使用量の削減
4. 化学物質の適正管理
5. 事務用品のグリーン購入の促進
6. 自らが施工する電気工事に係る環境配慮への取組み
7. 適用される環境に関する法規等を遵守する。
8. 環境方針を、全ての従業員に周知する。

制定日：2018年4月1日

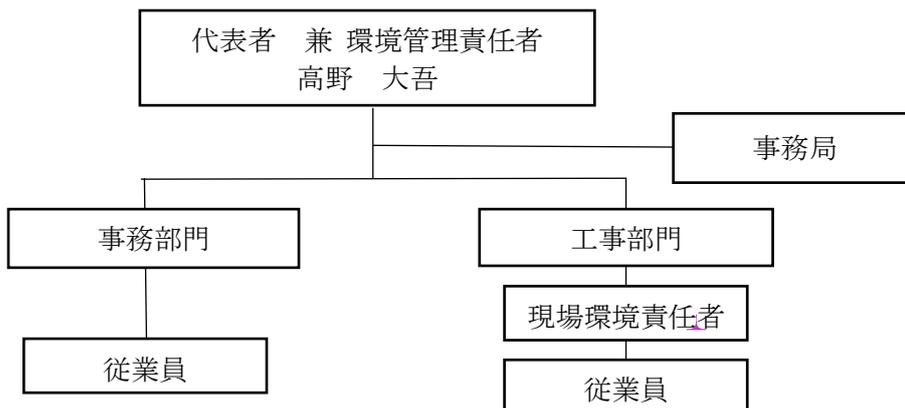
改定日：2019年4月1日

高野電気工業株式会社

代表取締役 高野 大吾

4. 環境経営実施組織

環境経営組織図



役割、責任・権限表

役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用などの経営資源を準備 現場環境責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公表
現場環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> 建設部門に関連する環境活動計画の実施 建設現場に適用される法規制の遵守 建設現場での緊急事態の対応 建設現場近隣住民とのコミュニケーションの実施 協力会社の従業員への入場者教育と環境への取組みの協力を要請
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境への取組みの実施 問題が発生した場合、責任者へ報告、連絡、相談の実施

5. 環境目標と実績

中期目標

区分	環境経営目標		単位	基準値	中期目標			
				2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素	電気使用量の削減 ※注1	目標値	kWh	43,010	42,795 (基準値の0.5%減)	42,795 (基準値の0.5%減)	42,795 (基準値の0.5%減)	
		C02 換算値	排出係数	0.468	0.468	0.468	0.468	
			kg-C02	19,655	19,557	19,557	19,557	
	ガソリン使用量の削減	目標値	ℓ	21,680	21,571 (基準値の0.5%減)	21,571 (基準値の0.5%減)	21,571 (基準値の0.5%減)	
		C02 換算値	単位発熱量	34.6	34.6	34.6	34.6	
			排出係数	2.32	2.32	2.32	2.32	
			kg-C02	9,907	9,857	9,857	9,857	
	軽油使用量の削減	目標値	ℓ	5,480	5,453 (基準値の0.5%減)	5,453 (基準値の0.5%減)	5,453 (基準値の0.5%減)	
		C02 換算値	単位発熱量	38.2	38.2	38.2	38.2	
			排出係数	2.58	2.58	2.58	2.58	
			kg-C02	2,504	2,492	2,492	2,492	
	C02換算値合計			kg-C02	32,066	31,906	31,906	31,906
	廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	500	497 (基準値の0.5%減)	497 (基準値の0.5%減)	497 (基準値の0.5%減)	
廃棄物	産業廃棄物量の削減	kg	62,570	62,257 (基準値の0.5%減)	62,257 (基準値の0.5%減)	62,257 (基準値の0.5%減)		
		kg						
水	総排水量（水使用量）の削減	m ³	198	197 (基準値の0.5%減)	173 (基準値の0.5%減)	173 (基準値の0.5%減)		
グリーン購入	グリーン購入の推進	%	70	71 (基準値の0.5%増)	73.1 (基準値の0.5%増)	73.1 (基準値の0.5%増)		
化学物質	化学物質の適正管理 ※注2	定性目標		適正管理する	適正管理する	適正管理する		
環境配慮サービス	産業廃棄物の再資源化 ※注3	定性目標		リサイクル状況の確認	リサイクル状況の確認	リサイクル状況の確認		

注1：電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナーの0.457Kg-C02を使用した。

注2：化学物質は使用量が微量で用量を削減した場合の品質影響が確認できないため維持とする。

注3：産業廃棄物は工事の内容により発生量が大きく異なる為、定性目標とし、委託した廃棄物処理業者でのリサイクル状況を確認する。

活動結果 (2023 年度)

区分	環境目標	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素	電気使用量の削減	kWh	42,795		×
	ガソリン使用量の削減	リットル	21,571		×
	軽油使用量の削減	リットル	5,453		×
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	500		○
	産業廃棄物量削減	kg	62,257		×
水	総排水量（水使用量）削減	m ³	173		×
化学物質	化学物質の適正管理		適正管理	使用量なし	○
グリーン購入	グリーン購入の推進	%	73.1		○
環境配慮	産業廃棄物の再資源化		リサイクル状況確認	リサイクル状況確認	○

○：目標達成 ×：目標未達成

二酸化炭素総排出量 (2022 年度実績)

区 分	使用量	二酸化炭素排出量
購入電力	kWh	19,815.98 kg-CO ₂
液化石油ガス	0 kg	0 kg-CO ₂
ガソリン	24,721 ℓ	57,354.47 kg-CO ₂
軽 油	6,212 ℓ	16,028.61 kg-CO ₂
合 計		93,199.06 kg-CO ₂

注1：電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナーの排出係数：0.457 kg-CO₂ を使用した。

6. 環境活動計画・取組結果と評価

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
電力使用量の削減 ① unnecessary照明の停止、こまめな消灯 ② unnecessaryエアコンの停止、適正な設定温度 (夏季: 28℃ 冬季: 20℃) ③ 不使用機器の待機電力カット ④ 照明器具、エアコンフィルターのこまめな清掃	<ul style="list-style-type: none"> 事務所のLED化は全て完了した。 室温上昇対策として全て遮光熱性カーテンへ変更した。 クール/ウォームビズを推進し、冷暖房の温度を高め/低めに設定するよう努めたが、それ以上に猛暑等の影響が大きく出た。 	継続して実施する。 冷暖房に関しては、健康を損ねないよう留意しながら取り組む。
ガソリン使用量の削減 ① エコドライブの実施 ② 走行ルートの適正化 ③ 走行距離の記録・管理 ④ 走行距離に基づく保全・整備する。 ⑤ 可能な限り公共交通機関を利用する。	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめを継続して掲示することで、全員に環境対策意識が浸透してきた。 	継続して実施する。
軽油使用量の削減 ① エコドライブの実施 ② 走行ルートの適正化 ③ 走行距離の記録・管理 ④ 走行距離に基づく保全・整備する。 ⑤ 可能な限り公共交通機関を利用する。	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめを継続して掲示することで、全員に環境対策意識が浸透してきた。 	継続して実施する。
一般廃棄物排出量の削減 ① 分別の徹底 ② 3Rの徹底 ③ コピー裏紙の再利用	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの分別、両面印刷、裏紙使用は習慣化し、無理なく実施できた。 緩衝材は再利用のため保管し、再利用した。 	継続して実施する。
総排水量(水使用量)の削減 ① こまめな節水 ② 漏水の点検	<ul style="list-style-type: none"> 節水ポスターの掲示によりの意識が浸透した。 漏水は発生しなかった。 	継続して実施する。
化学物質の適正管理 ① SDSを取得し、危険有害性の安全対策実施 ② 保管、輸送上の注意事項の遵守 ③ 使用量の管理	<ul style="list-style-type: none"> 「化学物質適正管理手順書」を遵守した。 新しく取り扱う化学物質はなかったため、SDSの新規収集はなかった。 	継続して実施する。
グリーン購入の推進 ① グリーン製品の周知 ② 積極購入の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な呼びかけにより、アスクールでのグリーン製品購入割合が飛躍的に伸びた。 	継続して実施する。
自らが施工する電気工事に係る環境配慮への取組 産業廃棄物の再資源化 ① 素材別BOXの設置 ② 分別の徹底 ③ 作業ミスによる廃棄量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 分別用倉庫設置済み。 混廃に包装材が含まれていたため、廃プラとして分別する。 委託産廃業者でのリサイクル状況を確認した。 	継続して実施する。 分別用倉庫を近隣に追加設置予定。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果

適用される主な環境関連法規は以下の通りで、遵守評価の結果これらへの違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

2024年3月31日
管理責任者 高野大吾

法律・条例の名称	規制内容	遵守状況
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・特定建設作業にあつては、都道府県知事に事前届け出をする。・発注者へ書面による計画説明及び書面による。・完了報告をする。	遵守
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・事業者は使用済み自動車を事業者へ引き渡す際、登録事業者（自動車リサイクルシステムへの登録事業者）へ引渡し「使用済み自動車引渡証明書」をもらう。	遵守
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none">・業務用エアコン管理者は機器の点検を行い、その記録作成、保管を行う。	遵守
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・対象機器テレビ（液晶プラズマ含む）、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	遵守
小型家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・事業活動に伴い生じた使用済み小型電子機器等を排出する場合、再資源化を適正に実施し得る者に引き渡す。・パソコンの廃棄は指定の事業者の回収	遵守
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none">産業廃棄物・保管基準（周囲に囲い、流出防止、掲示板）・委託契約（2者契約、許可証写、最終処分）・マニフェスト交付、未回収時報告・書類の保管は5年間・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none">・事業者は化学物質（640物質）について、リスクアセスメントを実施しなければならない。・事業者は、前項の調査に基づき、労働者の危険性又は健康障害を防止するため必要な措置を講ずる。	遵守
東京都環境確保条例	<ul style="list-style-type: none">・自動車を駐車又は停車するときは、アイドリングストップする。	遵守
葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例	<ul style="list-style-type: none">・事業者は事業系一般廃棄物又は一廃と併せて処理する産廃を容器で排出するときは、有料ごみ処理券を貼付する。	遵守

8. ボランティア活動・表彰



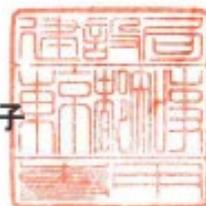
東京ふれあいロード・プログラム

～みんなで育てる東京の道～

認 定 証

高野電気工業株式会社 殿

東京都知事
小池百合子



令和4年度 東京ふれあいロード・プログラムの団体として認定したことを証する。

記

活動内容
清掃活動

道路名
環状七号線(318)

活動について
貴団体と東京都第五建設事務所長との間で締結した「東京ふれあいロード・プログラム協定」に基づき活動するものとする。



ボランティア参画証明書(地域イベント用)

1	事業者名	高野電気工業株式会社
2	事業所所在地	東京都葛飾区奥戸6-11-2
3	代表者名	代表取締役 高野 大吾
4	参画イベント名	第9回かつしかふれあいRUNフェスタ2023
5	実施場所	堀切水辺公園【スタート・ゴール】
6	イベント主催者	かつしかふれあいRUNフェスタ実行委員会(主管)
7	参画期間	令和5年3月12日(日)
8	イベント概要と参画内容	<p>子どもから高齢者まで誰もが参加できる 葛飾区、葛飾区教育委員会、葛飾区陸上競技協会主催のマラソン大会。</p> <p>活動内容：参加賞渡し、抽選会景品渡し</p>

以上のとおり、間違いのないことを証明いたします。

令和5年3月23日

主催担当者 かつしかふれあいRUNフェスタ実行委員会
職 委員長
氏名 小花 高子

連絡先住所、電話番号 葛飾区奥戸7-17-1 03-3691-7111





表彰状

工事部門
葛飾区文化会館（本館）電気設備改修工事

高野電気工業株式会社 殿

貴社は葛飾区発注の頭書工事の施工にあたり模範となる優良な成績をおさめられましたよってここに表彰します

令和四年五月十八日

葛飾区長 青木 克徳





表彰状

工事部門

(仮称)葛飾区新小岩地域活動センター
電気設備工事

高野・三協建設共同企業体 殿

貴社は葛飾区発注の頭書工事
の施工にあたり模範となる
優良な成績をおさめられました
よってここに表彰します

令和四年五月十八日

葛飾区長 青木

克徳



9. 世界を目指す国際目標 SDGs (持続可能な開発目標)



<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>
<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>		



適正な人事評価と適正な賃金の支払い



日雇い労働者も含め、すべての労働者に健康診断を受診させる



新入社員含め社員への技術教育を受講させる



男性の育児休暇・介護休暇の取得を促す



作業現場での男女別のトイレ確保



LED化促進・太陽光発電の促進・自然エネルギー導入の促進を促す



性別・年齢にとらわれない雇用促進



男女・年齢・学歴不平等制度の廃止。外国人を積極的に雇用



省エネルギー対策・LED照明への推奨



台風等、気候変動に立ち向かう為の災害対策の技術向上



プラスチック製品の削減をこころがける



平和な社会を推進する



一社だけでなく地域が一体となって取り組む

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

2024年4月1日代表取締役 高野大吾

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について以下の通り、評価と見直しを行った。

① 環境経営方針

1. 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電力使用量の削減 達成状況 ×
 - ・ガソリン使用量の削減 達成状況 ×
 - ・軽油使用量の削減 達成状況 ×
2. 廃棄物排出量の削減
 - ・一般廃棄物量削減 達成状況 ○
 - ・産業廃棄物量削減 達成状況 ×
3. 水使用量の削減 達成状況 ×
4. 化学物質の適正管理 達成状況 ○
5. 事務用品のグリーン購入の促進 達成状況 ○
6. 自らが施工する電気工事に係る環境配慮への取組み 達成状況 ○
7. 適用される環境に関する法規等を遵守する。 達成状況 ○
8. 環境方針を、全ての従業員に周知する。 達成状況 ○

② 環境経営目標及び環境経営計画

受注産業でありかつ移動産業である建設業の特徴を盛り込んだ目標値の設定基準を検討し、反映させる必要がある。環境関連法規については厳格に遵守できていたと評価できる。葛飾区公共工事案件2件名において、優良な成績を納め表彰を受けた。

今年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行し、徐々にコロナ前と変わらない企業活動になってきた。工事受注量は大型案件の受注により昨年より増した。しかしながらガソリン使用量の削減・軽油使用量の削減・産業廃棄物量削減は達成出来なかった。工事の請負、受注に伴うレンタル車両の増加に伴い未達成であった。産業廃棄物についても同じく工事の受注内容により大きく左右する為、今期は未達成となった。引き続き分別の徹底を維持し心がけていけるよう指導していく。総排水量（水使用量）は節水に向けて取り組んだがコロナ過で除菌作業やこまめな手洗を徹底した結果未達成となった。

エコアクション21推進体制をとってから、社内に見える化ができ社員一人一人が意識改革し環境活動への取組に関心をもってきているように思う。

コロナ収束に伴い、今年度は「かつしかふれあい RUN フェスタ 2023」の開催があり、ボランティア活動に参加した。ボランティアに取り組む過程において地域の子供から高齢者までかかわることで、地域社会への貢献はもとより、従業員のモチベーションの向上にもつながった。

来期も引き続き世界を目指す国際目標SDGs（持続可能な開発目標）の目標項目に照らし、高野電気工業の事業活動及び会社の諸施策、社会的役割などを考えていきたい。建設業界では、建物・土木などインフラ作りが持続可能な社会作りに直結するとの認識で、SDGsを進めていきたい。また、引き続き地域密着・ボランティア活動にも積極的に参加していきたい。

なお実施体制については来期も現状を継続する